

第17回 定例ワールドカフェ (3/4) 感想 (2023.5.19 現在)

話題提供：発達障害特性をもつ女性の妊娠・出産・子育て 第1弾

提供者：小寺樹里 (大阪公立大学大学院博士前期課程院生 開業助産師)

当日参加者：8名

感想 (Google Form) 回答者：3名 (分野_医療2名、保健行政1名)

- ・本日のお話、ありがとうございます。本当に、現在困っている人が、当事者はもちろんのこと、色々な人がどうすればいいのか、悩みながら日々過ごしていると思います。解決、は難しいですが、少しでもみんなが生きやすくなるよう、お互いに理解しあっていくことが大切かな、と思っています。研究成果、ぜひ学会でも発表してください。多くの医療職が知っていくべきことと思います。大学には、教員もそうですが、本当に多くの対象者がいます。大きな大学の相談センターはかなり機能していると思うのですが、小さな大学では、設置はされていてもうまく機能していない、支援する人達の情報共有ができない、みんなが違う方向を向いているなどがあります。支援するときには対応を統一するなどが必要と思っていますが、個人情報ということで、トップの人たちだけが情報を握っていることも多いです。それで何かしてくれるならいいのですが、、、子どもに着目すると、親の課題も見えてきて、何をどこまで私たちができるのか？と途方に暮れることも多いですが、妊娠という、女性が医療に接触する大きな機会を逃さないことが、とても大きな力になるのではないかと、可能性を感じました。次回も楽しみにしております。
- ・本日はありがとうございました。発達障がいに関しては、地域に出ている、自分の子ども達の参観等に参加した際もさらに増えているな～とふわっとした感覚でしたが、実際データとして見させていただいて、このままではアカンなと危機感を感じました。お話を聞いて今まで、なんとなくそうなのかなと感じていた所が結び付いたり、自分自身の関わりはどうだったんだろうと改めて考える時間になりました。本当に困った！が見えない層のお母さんや子ども達へのカバーの少なさも実感しています。この部分も、本当に今後しっかりと受け皿を作っていくべきだなと感じました。紹介して下さった本も早速ポチっと購入致しました。本当にありがとうございました。次回も楽しみにしております！
- ・身体、精神、知的障がいの診断を受けている方、重複して受けている方も含めたら何百万人もおられます。診断を受けていなくても生きづらい方もたくさんおられます。発達障害特性をもつ方にとって、周産期医療や妊娠・出産・子育てでは当たり前のことと、多くの人が無意識、無関心でいることにスポットライトを当てる重要な研究だと思います。第2弾、是非お願いします。